

## 第283回: New Gang of Four

いまから40年近く前の1976年9月9日、新中国建国の父である毛沢東主席が亡くなり、その1か月後の国慶節後に君側の奸の四人組(Gang of Four)が逮捕され、十年の長きにわたり中国を恐怖と混乱のどん底に突き落とした文化大革命がようやく終了した。四人組とは毛沢東夫人の江青を中心とする張春橋、王洪文、姚文元のグループを指し、当初は上海組と呼ばれていたが、その後中国共産党が四人組と呼ぶようになり、現在に至っている。なぜ上海組と呼ばれていたかといえば、江青は解放前の魔都上海で藍蘋(ランピン)の芸名で怪しげな女優をしていたことがあり、残る3人も上海の新聞編集長、文芸評論家、労働者であった。そうでなくても「せこくて、ずるい」上海人は中国の至るところで評判が悪い。文革で散々な目に遭った北京の庶民たちが、万感の恨みを込めて彼らを上海組と罵倒した気持ちはよくわかる。

四人組は毛沢東の権威を笠に着て、過激な政策を実行し、反対派を徹底的に弾圧迫害したから、毛沢東が死ぬと、すぐ復讐されたのだが、彼らの罪状の中に「党内で派閥を結成した罪」が含まれている。共産党の世界では派閥は大罪である。先週、さる新聞社からインタビューを受け、習近平政権を取り巻く上海派、太子党、共青团派等の関係を訊かれたとき、「革命の血統を引き継ぐ習近平や王岐山たちのことを、中国では【紅二代】と呼んでいるようですが、紅二代と太子党はどう違うのですか？」と問われ、思わず笑ってしまった。太子党とは海外のメディアなどが勝手に命名した用語であり、そのニュアンスは批判や揶揄を含んでいる。そもそも派閥結成がタブーである以上、習近平が「われら太子党は」なんて言うわけがない。

そのかわり、彼らは自分たちの出自を誇らしげに「紅二代」と呼ぶ。より正確に言えば、1949年の新中国誕生前から日中戦争や国共内戦に参加した共産党の高級幹部(少なくとも次官ないしは将官以上)の子弟を指す。因みに江沢民や胡錦濤のように建国後に党政府の指導者となった幹部の子女は「官二代」と呼ばれる。革命幹部の中で最上位は長征出身者であり、習近平の父の習仲勳(元副首相)は、長征には参加していないが、毛沢東たちが国民党に追われ、1935年にほうほうの体で黄土高原の延安に逃げ込んだとき、彼らを温かく迎え入れた現地指揮官が習仲勳であり、その意味で習近平一族の血筋はピカピカだ。

文化大革命が終わり改革開放時代に入った後も、指導者の多くは革命指導者とその一族だった。鄧小平や薄一波(薄熙來の父・元副首相)は革命の元勳そのものであり、彼らの後を継いだ第二世代の胡耀邦(元主席)は少年兵として長征に参加、趙紫陽(元主席)は日中戦争のさなか1938年の入党組だ。それに続く第三世代のエリート李鵬(元首相)は周恩来(元首相)の養子であった。そこでライバル李鵬にコンプレックスを持つ庶民出の江沢民は、国民党に殺された叔父を強引に革命烈士に仕立て上げる「血統ロンダリング」の小細工を弄した。さすがはセコイ上海人だ。(厳密には上海人がバカにする田舎の揚州出身だが)。

いま習近平指導部は腐敗追放キャンペーンという錦の御旗を掲げて反対派をパージし、権力基盤の強化に取り組んでいる。彼の最終標的が江沢民を頂点とする上海グループにあるのは明らかだ。皮肉なことに、胡錦濤率いる最大会派の共青团のエース李克強を排除して、習近平を後継に指名したのは江沢民だった。理由は簡単で、日本でも中国でも「担ぐ神輿は軽くてパーが良い」のだ。その少数派の習近平が、共青团や上海派を押さるため、最近重用している部下の中に、王岐山・規検委主任(義父＝姚依林・元副首相)や、

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

劉源上将(実父＝劉少奇・元主席)のように、多くの紅二代が含まれている。彼らと習近平とは一蓮托生で、もしいまの権力闘争に勝利すれば習四天王、打倒されたら習四人組と呼ばれる運命にある。

現状は習グループが優勢で政権基盤は着実に拡大している。彼が掲げる「虎も蠅も容赦せず一網打尽に」と云う政権闘争のなか、「新四人組」と云う新語がいつの間にか定着したようだ。最初に駆除されたのは、習政権の誕生直前に胡錦濤・温家宝によって葬り去られた野心家の薄熙来(前政治局委員)＝無期懲役。次に胡錦濤政権で公安・武装警察を指揮しチャイナ・ナインにまで栄進した江沢民派の周永康が無期懲役で失脚した。更には胡錦濤時代、10年にわたり人民解放軍(PLA)のトップを勤めた徐才厚上将(前軍委副主席)が失脚、彼は幸か不幸か病死したため、被疑者死亡により不起訴で済んだ。

四人目の大虎は、何たることか清く正しく美しいはずの共青团から出た。しかも胡錦濤の最側近で、首席秘書官のような立場にあった令計画という超大物だ。3年前に彼の息子がフェラーリに美女を二人載せて、北京の二環路を爆走中に事故死した事件がすっかり有名になり、この事件の隠蔽工作も彼の罪状に含まれるようだ。中共中央政治局会議は20日、巨額の賄賂を受け取ったなどとして令計画の党籍剥奪を決めた。党中央の決定を受け最高検は彼を収賄容疑で立件し逮捕することになる。彼は地位を利用し、自身や親族を通じ巨額の賄賂を受け取ったほか、国家機密を大量に違法取得し、「共産党の規律に反し党のイメージを損ねた」と批判されている。水に落ちた犬は徹底的に叩くのが共産党で、新華社は更に「與多名女性通奸＝多数の女性と情を通じた」と、ヘソの下の不適切な関係まで指摘している。これまでの党の方針から令計画も無期懲役だろう。何れにしても彼の失脚により、胡錦濤の元老としての影響力は完全に消失した。

更にもう一人近々白黒をはっきりさせる必要のある大虎がいる。徐才厚上将と共に胡錦濤時代にPLAのtwo topを勤めた郭伯雄上将だ。既に彼の息子の郭正鋼大佐とその妻が検挙されており、彼がクロであることは周知の事実となっている。容疑は収賄や職権乱用だが、注目すべきは階級売買疑惑だ。一説には少将や中將の売買価格が一千万～三千万円(1元＝20円)と云われている。中国の軍人の収入は公務員の中でも特に低く、将官でも年収は邦貨でa fewの数百万円程度だ。大佐や少将が、昇級資金をどこで捻出したのか、しかもどうやら大金をはたいても、少将や中將になれば、その職権を利用して十分回収可能だと云う。世界最大の軍隊PLAは中国各地に広大な土地を保有し、敷地内には数多くの工場を擁している。おまけに敷地内は警察も立ち入り禁止だ。PLAの秘密工場でXXを製造し、XXに売りさばいて、莫大な利益を上げているといった与太話まがいの噂は絶えない。軍隊の汚職や非合法活動の闇は深い。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成27年7月24日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040